

SEMITEC 株式会社

2011年3月9日

市場	JASDAQ (スタンダード)	業績 (百万円)	2009/3	2010/3	2010/12(3Q)
上場承認日	2011/3/9	売上高	8,934	9,500	8,102
上場予定日	2011/4/13	営業利益	60	465	646
主幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー	経常利益	0	419	470
監査法人	有限責任監査法人トーマツ	当期利益	86	304	229
URL	http://www.semitec.co.jp/	総資産	10,433	10,332	10,311
証券コード	6626	純資産	6,065	6,277	6,165

● 事業内容 (特に記載しない限り、数値は2010/3期)

- ・同社は、温度センサをはじめとする各種センサ等の製造・販売を主たる事業としている。製品は、①バルクセンサ、②薄膜センサ、③赤外線センサ、④その他に分類できる。
- ・①はセラミックス製造技術を用いて製造されたセンサであり、エアコン・冷蔵庫等の家電製品の他、自動車、情報機器、電子体温計等の様々な用途に使用されている。②は半導体製造プロセスを用いて製造されたセンサで、同社グループが初めて量産化したものである。小型化が可能であること、熱感度が高いことから、複写機やプリンタ等のOA機器や高応答性の電子体温計等に採用されている。③は、物体から放射されている赤外線を検知するものであり、非接触温度検知やガス検知が可能であり、OA機器や医療機器等に使用されている。
- ・製品群別の売上高は、①54億円、②20億円、③8億円、④12億円であり、売上の中心は①と②であることが分かる。また、2010/12(3Q)の売上高は、①42億円、②19億円、③6億円、④12億円と、②の成長率が高いことが見て取れる。なお、単一事業であることを理由にセグメント情報が開示されていないこと、売上以外の情報は事業本部別に開示されている(事業部は子会社単位で構成されている)うえ事業本部と製品群との関連が明記されていないため、製品群別の粗利率等は不明。
- ・同社グループは、基本的に消費地に近い場所での生産を指向しており、そのため、アメリカ(LA)及びアジア各地に計12社の子会社を保有している。各社は、販売(LA、香港、台湾、深汕、上海)、製造(フィリピン、香港、広東)、製造及び販売(韓国、江蘇)子会社に分類できる。

● 財務諸表より (特に記載しない限り、数値は2010/3期)

- ・総資産は103億円。主に、現金預金28億円、営業債権22億円、在庫17億円、有形固定資産28億円など。営業債権は売上の2.9ヶ月、在庫は原価の3.3ヶ月程度である。有形固定資産は、本社及び生産・販売拠点であるが、中でも千葉の生産設備12億円が主たるものである。一部の資産は借入の担保等で使途が制限されているが、その中に元販売代理店からの差止請求による凍結された口座が存在している。詳細は不明だが、金額は0.1億円程度。
- ・負債は40億円。主に営業債務14億円、有利子負債14億円、退職給付引当金4億円など。営業債務は2.6ヶ月であり、営業債権のサイトとほぼ同程度である。
- ・売上高は、89億円(2009/3期)→95億円(2010/3期)→81億円(2010/12:3Q)と微増トレンド。粗利率も33~35%で安定している。販管費(26億円)では、人件費14億円と研究開発費3億円が目立つ。営業利益は2010/3期は4億円計上されているが、2009/3期はほぼゼロである。これは販管費が2010/3期と比較して3.8億円多額であったためであり、研究開発費(2億円)の影響が大きいが、それ以外の要因は不明。
- ・同社は複数の退職金制度を持つが、総合設立方式の厚生年金基金においては積立不足が生じている(掛金拠出割合で試算した場合1.8億円程度)。なお、注記されている退職給付債務算出上の割引率が9.25%と非常に高いが、その内容は不明。日本以外の制度に係るものであろうか。

● その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

- ・先述の通り、同社グループは海外に多数の子会社を有しており、海外売上高は64.3%と高い(アジア各国が中心)。そのため、為替レートにより円建の業績に影響を受けやすい。例えば、2010/12(3Q)には為替差損が1.8億円計上されており、営業利益の約30%が為替の影響で消失してしまっている。また、製品であるセンサの原材料に、コバルト・マンガン・銀・ニッケル等のレアメタルを使用するため、これらの相場によっては業績に影響を受ける可能性がある。
- ・株主構成では、オーナー一族(資産管理会社含む)が議決権の62.9%を保有している。なお、一族の保有株式は今回売出が行われない見込であり、IPO後も56.1%程度を保持する見込み。その他の大株主は、従業員持株会(12.0%)、その他役員(5.4%)など。VCが若干入ってはいるものの安定株主の比率は高いと想定される。また、新株予約権は総数で議決権の1%未満と非常に少ない。
- ・調達見込額は、約4億円。調達資金は、タイ新工場設立等の生産設備構築に充当する予定。
- ・役員構成は、取締役9名、監査役4名(うち常勤2名)。取締役のうちオーナー一族は3名。
- ・オーナー一族の親族が経営する企業2社が、同社グループの製造委託先となっている。取引高は2社合計で売上原価の6.3%程度であり、リスク情報に記載されてはいるものの、関連当事者取引の開示はなし。

© (株)アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実認識等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。